ロータリーは機会の扉を開く

RI会長：ホルガー・クナーク
Herzogtum Lauenburg-Mölln RC

国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata

八街ロータリークラブ週報

http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール
毎週水曜日 12:30～13:30
電 話 043 - 443 - 3021
FAX 043 - 443 - 7221
創立 1966年(昭和41年)5月22日

会長 木村 利晴 ・ 会長エレクト 笹川 英一 ・ 副会長 竹村 信彦 ・ 幹事 竹村 信彦

第55巻 第10号 通巻 第2596号 合併号 2020. 10. 28発行
第2597号

第2595回 2020年10月7日例会報告

【出席報告】 SAA 福田 守

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
10/ 7	30	27	3	90		
9/ 9	27	22	7	75.86	4	89.66

会員総数 30名
（ 名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 4名 ）
通算出席率 93.15%
9/9メークアップ4名・鎌形会員、木村会長
笹川会員、小澤会員(理事会)

点 鐘 会長 木村 利晴
斉 唱 君 が 代
ソ ン グ 四つのテ ス ト
お 客 様 並木 孝治様(東金RC)

【ニコニコボックス】



◇本人誕生日 ・小川 嘉一会員 ・笹川 英一会員
・小久保 和子会員・泉水 宏之会員

◇奥様誕生日 ・伊藤 武雄会員 ・鎌形 芳法会員

◇結婚記念日・小川 嘉一会員 ・大畑喜信会員
・福田 守会員 ・生形 健一会員
・増田 繁会員

◇結婚60周年！ 小川 嘉一会員

◇文芸発表会(学園祭代行)クラス競技会
(体育祭代行)無事終了しました。 西村 清会員

◇TV昼めし旅、本日11時40分から放映
10月2日再放送しました。 増田 繁会員

◇初孫が生まれました。 小久保 和子会員

【会長挨拶】　　会長　木村 利晴



皆さん、こんにちは！10月最初の例会になります。

10月は、「経済と地域社会の発展月間／米山月間」です。

新型コロナウイルス感染者数が八街市内で45人を数えております。市内事業者でコロナ禍での倒産を余儀なくされた企業も出てきたとお聞きしております。政府は、全国民に特別定額給付金の給付、中堅企業、中小企業、小規模事業者に持続化給付金の給付を行っております。千葉県では、中小企業再建支援金の交付をして頂きました。八街市では、中小企業元気アップ給付金として、売上減少率を前年同月比20％以上に緩和して対象者を中小企業に加え、法人、組合、さらに市内に事業所がある市外在住の個人事業主も対象に給付されました。コロナ禍で業績が戻っていない企業がまだまだおられます。コロナ感染が早く鎮静化し、地域経済が回復することを願っております。そのためには、国、県、市による第2弾、第3弾の支援金の交付が必要です。市民派である菅新首相には是非ともこの難局を乗り越え、国民の暮らしを守って頂きたいと思います。また、ロータリアンの方達にも地域社会が疲弊しないよう地域経済のため、ご支援、ご協力をお願い致します。

話が変わりますが、会長は挨拶の中で必ずでロータリーの話を入れなさいとのことですので、月初めに歌うロータリーソング「四つのテスト」の由来についてお話しします。

初期のロータリー会員は、倫理と責任感を持って行動し、奉仕の機会として職業を生かすことの重要性を重視しました。自らの職業を通じた奉仕を誇りにすることは、ロータリアンとしての理想的な姿といえます。1932年破産寸前だったアルミニュウム会社の再建を託されたハーバート・テイラー（シカゴ・ロータリークラブ会員、1954～55年度RI会長は再建の指針として「四つのテスト」を考案しました。この四つの問いは後にロータリーでも採用され、今日、生活や仕事の場面におけるロータリアンの高潔性と高い倫理基準を要求する力強い指針となっております。

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

と言う事で今日、歌い継がれております。

何かを言ったり、行動したりするときは、一呼吸置いて「四つのテスト」に照らし合わせ、合致しているかどうか？考えてからにして頂けたら、後で、後悔するようなことが少なくなると思います。是非、実行してみてください。

最後になりますが、ロータリアンと地域の皆様が毎日笑顔で暮らせます様ご祈念申し上げ、会長挨拶を終わります。

【理事会報告】　　幹事　竹村 信彦



≪報告事項≫

1. 会計報告
2. 会長幹事会　10月15日(木)18：00
   割烹やまもと
3. ガバナー公式訪問　10月13日(火)
   11：30現地集合に変更　ラディソンH成田

≪審議事項≫

1. 第2790地区第4グループ6クラブ共同声明について
〈八街RCの見解〉
必要な変更であれば変えることは厭わないが、今回は進め方が唐突でまずい。必要な時間をかけて全クラブにしっかりと説明し、多くの会員の理解と同意を得たうえで進めるべきである。
2. ガバナー公式訪問について
「私のロータリーモーメント」
発表者：高橋会員・小澤会員

【幹事報告】　幹事　竹村 信彦

◎女性交流会登録のお願い

◎米山梅吉記念館賛助会入会のお願い

◎2023-24年度ガバナーの公表
（ガバナーノミニー・デジグネート）
鵜沢　和広氏　　千葉若潮RC

◎受贈週報等　・成田ｺｽﾓﾎﾟﾘﾀﾝRC　・黎明高校

【委員会報告】　米山記念奨学委員長
生形 健一



会員の皆様、今月は米山月間です。今月のガバナー通信に地区米山奨学委員長の挨拶と、今年度米山奨学生の紹介が載っています。

今年度の奨学生は、中国・ベトナム・スリランカ・ネパール・モンゴル・バングラデシュ・インドネシア・コンゴと多くの国々から採用されております。これも会員の皆様のおかげだと深く感謝しております。

今年はコロナ渦で米山月間の特別寄付をお願いするのは心苦しいのですが、どうぞよろしくお願いいたします。

【委員会報告】　青少年奉仕委員長
小久保 和子

青少年奉仕委員長の小久保です。
今年はコロナの影響を受け台湾国外研修が中止になりましたがRYLA21世紀リーダーシップセミナーが開催されます。
日時 2021年2月13日(土)～14日(日)
場所 鴨川ユニバースホテル
参加資格 ローターアクト、インターアクト、米山奨学生等ロータリー関係者はもとより広く次世代を担う若者にご参加頂きたいです。
皆様ご協力をお願い致します。

【誕生月卓話】　小川 嘉一会員



私は今月、10月20日の誕生日で満86歳になりました。私が生まれた昭和9年は、東北は冷害、西日本は早害で、昭和6年に続き全国的に大凶作の年でした。3月には、函館大火で死者2094人、被災者11万1000人余りを出しました。又9月には室戸台風が関西を直撃､死者､行方不明者3036人など災害の多い年でした。でも、明るいニュースもありました。11月にはベーブ・ルースら米大リーグオールスターチームが来日。12月には、丹那トンネルが完成し、新東海道線が開通。新婚列車で熱海行きがブームの先駆けになりました。

今月は、誕生日祝いと共に結婚祝いをいただきましたが、10月18日をもって結婚60年（ダイヤモン婚）を迎える事が出来ました。家内共々元気で今を迎える事が出来たことに感謝です。

1905年、シカゴにおいてポール・ハリスと友人3人との語らいで、シカゴロータリークラブが誕生しその後世界に広められて来ました。我が国最初のロータリークラブは、1920年10月20日東京ロータリークラブが世界で855番目のクラブとして国際ロータリーに加盟承認されました。その後、日本のロータリーは第二次世界大戦の波に流され、1940年国際ロータリーから脱退します。戦後、1949年再び復帰加盟します。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。今年10月20日、日本のロータリークラブは満100年を迎えます。八街ロータリークラブも1966年5月、2790地区で29番目のクラブとして創立以来今年で55年を迎えました。私も、創立以来の会員として55年間八街ロータリークラブにお世話になってきました。その間多くの諸先輩、又多くの友人と知り合い、多くの思い出を作る事が出来ました。1999年には、会員一同で2度目となる米山記念館の訪問。又、2004年には大阪で開催された世界大会に会員全員で参加した思い出などが思い出されます。

この夏は新型コロナや熱波のため外出もままならず、部屋の片付けをしていたら、八街ロータリークラブ40周年のビデオテープが出てきました。懐かしい会員の顔も出てきますので、機会が有りましたら会員皆さんに観ていただきたいと思います。

八街RC 11月例会スケジュール	
11月　4日(水)	理事会・米山奨学生卓話
11月11日(水)	通常例会
11月18日(水)	通常例会
11月25日(水)	休　会

【誕生日卓話】　小久保 和子会員



本日無事に誕生日を迎えることができました。八街ロータリークラブの先輩方にお祝いして頂きましてありがとうございました。私事ではございますが9月に初孫が誕生しました。これからも八街ロータリークラブの一員として頑張って参りますのでよろしくお願い致します。

漆原 摂子ガバナー公式訪問



第2596回　2020年10月13日例会報告

【出席報告】

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
10/13	29	17	12	58.62		
9/16	30	26	4	86.67	0	86.67

会員総数　30名

（ 名誉会員　4名　・ 出席免除会員　4名 ）

通算出席率　92.43%

点　　鐘　　会長　木村 利晴

斉　　唱　　君　が　代

ソ　ン　グ　　奉仕の理想

お　客　様　　第2790地区ガバナー
漆原 摂子様（勝浦RC）
地区幹事 小林 淳一様（勝浦RC）
地区副幹事 久我 守正様（勝浦RC）
第10グループガバナー補佐
橋本 和治様（印西RC）
補佐幹事　米井重行様（印西RC）





【八街RC会長挨拶】　会長 木村 利晴



皆さん、こんにちは！本日は、ガバナー公式訪問ということで、ここ、ラディソンホテルにて八街RC、富里RCでの合同の例会になります。

数日前より緊張しており本日を迎えました。先ほど漆原ガバナーとの懇談会をさせて頂きました。漆原ガバナーは、大変気さくな方で、少々気持ちが落ち着きました。八街RCの実情の事、問題点、要望など丁寧に聞いて下さいました。ありがとうございました。地区副幹事長の久我様、地区幹事の小林様ありがとうございます。また、橋本ガバナー補佐ありがとうございます。尚、本日準備等大変お世話になりました富里RC鈴木会長、宮内幹事、会員の皆様ありがとうございます。コロナ禍での中、大勢の人が集まっての会合ができにくい昨今ではありますが、この様に多くの会員さんが参加されての開催ができましたこと、本当に良かったなと喜んでおります。八街RCも色々な問題を抱えております。昨年の台風被害、今年はコロナ感染拡大で委員会活動が出来ておりません。奉仕活動も出来ておりませんが、今年度は、コロナ感染状況を見ながら活動を始めて行きたいと思っております。具体的には、子供たちに八街市内で活躍している企業を紹介し、訪問、見学出来ればと考えております。大都市にだけに良い企業があるのではなく、身近なところにも素晴らしい企業があり頑張っていることを知ってもらいたい。また、少子高齢化してきているので、健康を気にされている方達が非常に多くなっております。その不安解消のための取り組みをしていきたいと思っております。まず、ロータリーの例会で健康講座を開催いたします。認知症、アルツハイマー型認知症、現代病で生活習慣病ともいわれている糖尿病についての講座を開催する予定です。ご興味のある方は是非ご参加ください。八街ロータリークラブは、今後地域に対しどの様な方向性をもって活動していったら良いか。地元地域と協力して、地域に根差した活動、喜んで頂ける活動をして頂ければと考えております。

最後になりますが、会場の設営をして頂きました富里RCのみな様に感謝を申し上げ、また、ロータリアンの皆様が毎日笑顔で暮らせます様ご祈念申し上げ、会長挨拶を終わります。

【富里RC会長挨拶】　会長　鈴木 寛尚



皆さんこんにちは。本日も例会出席ありがとうございます。親クラブであります八街クラブの皆様、本日はガバナー公式訪問ということで一緒にご準備いただきありがとうございました。国際ロータリー第2790地区ガバナー漆原摂子様、第10グループガバナー補佐橋本様、地区より副幹事長久我様、地区幹事小林様、第10グループガバナー補佐幹事の米井様、本日は当クラブ例会場のラディソンホテルまでお越しいただきありがとうございます。

先ほど幹事、会長エレクトと私でガバナーと懇談会がございました。内容はこの後の戦略計画でお話をいたします。

本日このコロナ禍で、予定通りガバナー公式訪問が行えたことは喜ばしいことでありますし、延期となりましたが地区大会も大変楽しみにしております。この後漆原ガバナーとの懇親会を予定しておりましたが、この状況のでありますので中止とさせていただきました。地区大会でいろいろと話をする機会があればと思っておりますので地区大会を楽しみにしております。短いですが本日の会長挨拶とさせていただきます。

本日もよろしくお願いいたします。

【幹事報告･委員会報告】

八街RC, 富里RC共にございません。

【卓　　話】　第2790地区ガバナー　漆原 摂子様



1. RI理事会　今年度強調事項

①新型コロナパンデミックに対する奉仕活動への取り組み。

②会員維持に努める。

③オンラインミーティングに馴染もう。

＊７つ目の重点分野　「環境の保全」（2021年7月1日より実施）

2. 国際ロータリーのテーマ

Rotary Opens Opportunities　ロータリーは機会の扉を開く

＊厳しい状況下だからこそ、今までになかった機会の扉にチャレンジ、ロータリーにおいては変革のときであり、未来に備えられるように。

＊扉の向こうの様々な機会・チャンスを求めて、個人でもクラブ単位でも、そのような扉をどんどん開いてゆきましょう。

3. クナーク会長からの公式訪問でのメッセージ（2020年1月発表）

①新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

②すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

③新会員を慎重に選びましょう。

④10月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

4. 地区活動方針

地区スローガン

「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

RIの4つの行動計画「より大きなインパクトを与える」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかかわりを促す」「適応力を高める」

5. 不変の基本理念
ロータリーの目的　　4つのテスト
5大奉仕部門
5つの中核的価値観（奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップ）
ロータリーのビジョン声明　「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手をとりあって行動する世界を目指します。」

まずは自分自身を大切に、
そしてあらゆる場面で役立つような人間に。

【クラブ協議会】　司会　八街RC幹事　竹村 信彦

ークラブ戦略計画及びクラブの利点･欠点ー

〈八街RC　会長　木村 利晴〉

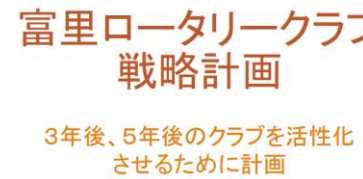
クラブの長所・短所並びにクラブが抱える課題・問題点

長所：　千葉黎明高校インターアクトクラブがあり、15名の会員が活動しています。ポリオ撲滅のための募金活動、歳末助け合い募金をして頂いております。また、会歴の古い会員さんが多いので、困ったときのお助けマンとなって、経験を活かしご対応して頂いております。

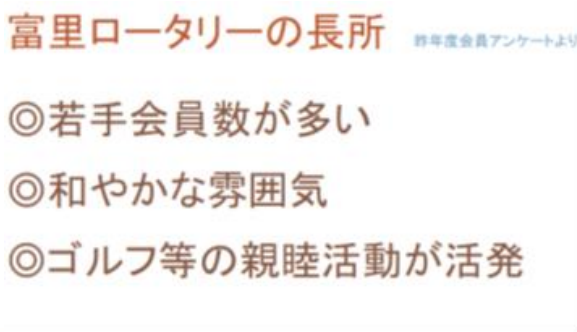
短所：　最近高齢を理由に大会されていく会員さんがおられるが、その後継候補の入会が全くないことが残念です。若い会員さんが少ない。女性会員も会員30名に対し3名と、1割しかおられませんので、女性が持っている特有の華やかさが少々欠けていると感じます。平均年齢も、69歳と非常に高くなっておりますので、活気という面で寂しく思います。

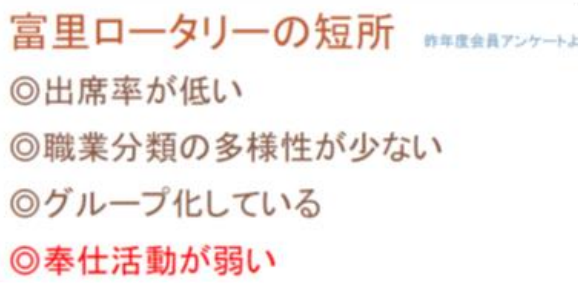
課題・問題点：　魅力あるクラブづくりをするには、どうしたら良いのか。今日も来てよかったと思える例会、来たら得する例会づくりを考えていきたい。また、若い会員、女性会員を増やし、多様な考え方で活動を活発にしたい。奉仕活動なども新しい試みをしていきたい。
クラブ戦略計画（中長期計画）並びに計画具現化の期限及び方策：　会員増強として、2025年までに会員数を35名にする。毎年1名の会員増強で達成するので、実現可能な無理のない目標と言える。尚、2022年から新しい継続的な奉仕プロジェクトを定着させる。今後、年間テーマを定め例会の外部卓話に反映させる。今年度は、テーマ案として、「健康と生涯現役」「青少年への社会教育」ということで、健康に関しては、認知症・アルツハイマー型認知症・糖尿病に関しての講座を3回に分けて開催します。今後、できれば広い会場で、市民参加の講座を、八街RCと八街市、社会福祉協議会等の協賛で行いたい。青少年への社会教育は、八街市内で活動、活躍されている企業訪問、見学会を開催する予定です。
八街市内には、1600社以上の企業、事業所があり、八街市を支えてくれております。若い世代の人たちに、八街市にも素晴らしい企業が沢山あることを知ってもらい、また、応援していけたらと思っております。
　例会にオンラインを導入し出席しやすい環境づくりに関しましては、今の例会会場にWI-FIの環境が整っておりませんので、追々環境整備につとめてまいりたく思います。
ZOOM会議の開催を余儀なくされた場合は、WI-FI環境の整った会場を確保する様努めます。
　各会員が、何のためにロータリアンになりロータリー活動をしているのか、原点を忘れず各委員会活動を進めて行ける様、研修を含め会員各位の資質向上を図って参ります。
　以上で報告を終わります。

〈富里RC　会長　鈴木 寛尚 〉

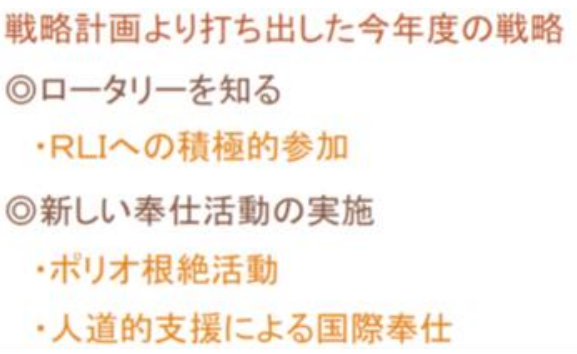


　富里クラブでは昨年度より戦略委員会を立ち上げました。メンバーは会長、会長エレクトなどで今後クラブ活性化に向け何をしていけばよいかの計画を立てるために毎回委員会を開いております。今回も委員会監修のもと発表いたします。
　クラブのアンケートをもとに長所、短所をまとめました。

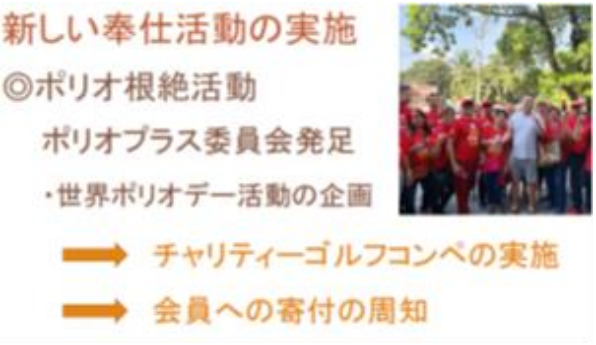




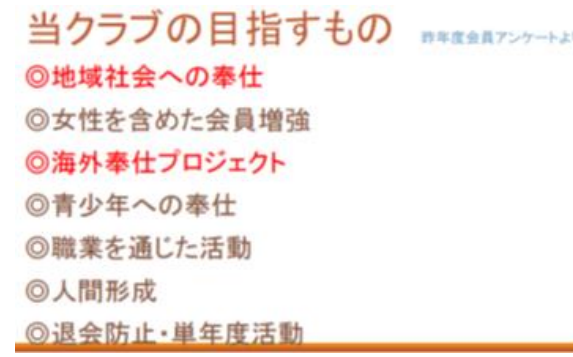
メインとなります本年度の戦略計画でございます。



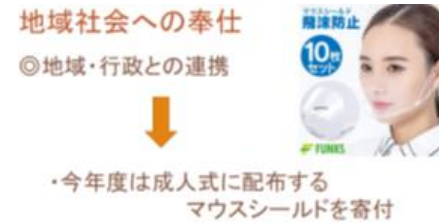




短所でありました奉仕活動が弱いというところをカバーする意味で、今後クラブを活性化させるためにどのような奉仕活動があるか考え、実施したいと思っております。写真は昨年松永会員　がフィリピンに行ったところ現地での活動に参加したものです。それがきっかけで富里クラブでも始めました。







単年度ではなかなか全てできませんので、私の年度では地域社会への奉仕、海外プロジェクトを進めて参りたいと思います。地域社会への奉仕、昨年度はコロナ対策としまして富里市にマスクを1万枚寄付しましした。行政が我々を頼ってくれるということは嬉しいことでございます。これを受けることで奉仕の一つになります。
次に海外奉仕プロジェクトについてでございます。本年度国際奉仕委員長が井戸を掘りたいと言い、そこで海外奉仕プロジェクトを富里クラブでも考えていきたいと思いました。今はまだ準備段階ですがそこで重要なことは、先ほどガバナーのお話の中にもありました6つの重点ポイント、次年度からは7つになります。

富里クラブでも地区補助金を活用した活動を行っていきたいと考えました。そこでフィリピンで一緒に活動をした松永会員は前年度のフィリピンのガバナーと交流をしており、一緒に活動ができないかということで話を進めております。WackWackクラブは奉仕活動も多くされていて、貧困地域の学校にモバイルなど導入するように支援しているようです。そこでどのような奉仕活動が良いのかなど、挙げていただいております。今後クラブの中でもよく話し合いをして、進めていけたらと思っております。

海外奉仕プロジェクトを行うことで、やりがいがある事業と活動を会員の皆様に提供できればと思っております。そしてクラブがよりよく活性化できればと思います。そして活動を通じて、R財団、寄付への理解が会員の皆さんに理解していただき、さらなる寄付への促進につながればよいと思います。富里クラブが活性化し、会員が増えて、魅力あるクラブになってほしいと思っております。これらのことを私たちが考えることができるのも、36年間クラブを支えてきていただいた先輩方がいるおかげだと思っております。私がこのようなことを説明できる場を設けさせていただいているのだと改めて実感しております。この事業をするのであれば会員皆で実施し、魅力あるやりがいのあるものとしたいと思います。

「ロータリーは機会の扉を開く」とありますが、実践して参りたいと思います。ありがとうございました。

【私のロータリーモーメント】

八街RC　小澤 孝延会員



ご紹介いただきました、八街ロータリークラブの小澤孝延です。本日は、2020-21年度　国際ロータリー第2790地区第10グループ　ガバナー公式訪問において「私のロータリーモーメント」についての発表機会をいただきありがとうございます。

私が勤務する社会福祉法人光明会では、八街市を中心に印旛の圏域で、主に障害がある方に「人生に仕事のある喜び」を提供し「仕事がある充実した人生」を創造する「人生指南」を活動の中心に据え、一般企業への就職とともに農作業や軽作業等、施設で福祉の支援を受けながら働く、いわゆる福祉的就労を通じて、充実した自立生活が送れるようお手伝いをしています。そんな私が八街ロータリークラブに入会させていただいたのは今から4年前の平成28年、何と私の誕生日でもある11月2日、何かの運命を感じながら入会しことを覚えています。

ロータリークラブの存在こそ知っていましたが、理念や具体的な活動を十分理解してからの入会ではありませんでした。そんな状況ではありましたが、クラブの諸先輩方に、職業人として、人生に対しての様々な考え方や実践等を日々ご指導いただきながら、何とかロータリアンとしての「奉仕の理想」の実現に向け自らの出来ることを模索し続けています。

そして、何といっても「四つのテスト」

1真実か　どうか
2みんなに公平か
3好意と友情を深めるか
4みんなのためになるか　どうか

を、気が付くと口ずさんでいる自分に「大分ロータリークラブに染まってきたなぁ」と一人楽しんでいます。そして、自らの言行に照らしあわせ、一歩を踏み出す時の大切な指針となっています。そして今後、私がロータリークラブの活動を通じて、実現していきたい未来は。

諸先輩方をはじめ皆様からいただいたご恩やご指導は、本人に直接お返しするのではなく、後世に繋いでいく。つまり先人から受け継いだ今を、より良い形にして次代に引き継ぐ「恩送り」の思いから、次の時代を担う子たち、更にその子たちにも伝え続けられるような地域社会の仕組みの構築に貢献出来たらと思っています。

まだまだ、ロータリークラブの崇高な理念や目的を十分理解できてはいませんし、四つのテストについても知行合一となっていませんが、人と人との繋がりを大切にしながら、目的と手段を見失わぬよう、未来への種をまき続けていきたいと考えています。

以上で、八街ロータリークラブ小澤孝延のロータリーモーメントの発表を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

【私のロータリーモーメント】

八街RC　高橋 宏一会員



八街ロータリークラブの高橋宏一と申します。本日は漆原ガバナーには八街・富里ロータリークラブへのガバナー公式訪問としてお越しいただきありがとうございました。簡単に自己紹介をしますと、ロータリーは36年目に入りました。私の所では祖父、父、私と3代続いてRtnです。私は過去ライラ実行委員を1期、米山地区委員を4期、青木ガバナー年度にガバナー補佐を務めさせて頂きました。

今日は私のロータリーモーメントと言うテーマですが、私のロータリー活動において、強く心に残っている出来事をお話しさせていただきます。

それは3年余り前のことですが、アメリカ南部ジョージア州アトランタで開催された国際大会に参加するために、渡米した時の出来事です。その時は、八街から4人、千葉南から2人、千葉港から一人、そして前ガバナーの成田の諸岡さんの8人で一つのグループを組んで出かけました。まず成田空港からシカゴに直行し1泊、翌日シカゴの北のエバンストンにある「ワン　ロータリー　センター」を訪問し、センターの見学、ロータリーの資料、アーチクランプソサエティなどの展示品、RI会長の執務室、理事会室などを案内していただき、そしてワン ロータリー　センター内の例会場で開催されているエバンストンRCの例会で、メイキャップすることが出来ました。このことはRtnとしての誇りであり大きな喜びでもありました。

そのあとエバンストンからシカゴ市内に移動し、アメリカの三大美術館のひとつであるシカゴ美術館を見学、そしてシカ ゴユニオン駅から電車に乗って、元交換学生だったロブ（ロバート　マッコエン）の家に、8人全員で向かいました。ロブは今から38年前、私がRtnになる前、父がRtnであった時代に、私の家でホストファミリーを引き受けた時の交換学生です。実は今回はシカゴに着いた夜、ロブから私宛に次のようなMailが入りました。私と妻は今年1月に離婚しました。今は私の家には住んでいません。私は今姉夫婦の家に住んでいます。そこで皆さんを歓迎します。皆さんはシカゴ　Metra Union駅からPacific North West Lineを利用してジェネバという駅で降りてください。そして電車の時刻も記してありました。そのMailを見て、これはロブが精一杯の歓迎をしてくれるものと確信し、７人のご理解をいただきました。シカゴ ユニオン駅から西に1時間ほど電車に乗りジェネバという駅に着きました。駅にはロブと彼のお姉さんが2台の車で迎えに来ておりました。車で10分ほど走ったところに、きれいに管理の行き届いた芝生と森に囲まれたところに家はありました。玄関のドアには、日本語で「ようこそ日本の皆様、」と張り紙がされてあり、前の晩私がFBに投稿した我々8人の写真を大きくプリントしてその脇に貼ってありました。実はロブとはそれより6年前にアメリカ中西部のウィスコンシン州のラクロス市のホテルで再会しておりました。その時は200マイルも離れた遠いシカゴから、車で駆けつけて、会いに来てくれました。それ以来の再会でした。

ロブのお姉さん夫妻の家は、2階建てで一部地下にも部屋のある大きな家でした。6月ですので夜は8時近くまで明るく、芝生の上や室内で談笑して、いよいよ食事です。食事のメインディッシュはサーモンのステーキ、野菜、果物など盛沢山、そして食事も終わりに近づいた頃ハプニングが起こったのです。最後にロブが日本酒を出してきました。（ロブは酒を飲まない）それは佐倉の地酒「旭鶴」の空きビンと空き箱でした。それは今から38年前に、ロブのお父さんが、ロブが留学中に私の家に訪ねて来られて、当時佐倉RCで交換学生のカウンセラーを引き受けておられた、造酒屋「旭鶴」の社長の田中勘市さんの家に案内して、いろいろお世話になり、帰りにロブのお父さんがお土産にいただいたものでした。実はその旭鶴酒造はその時一緒に行かれた千葉南の金親さんの実家であり、田中勘市さんは金親さんの実のお兄さんなのです。ロブも金親さんもお互いにその時が初対面であり、金親さんは何で俺の実家の兄貴が作った「旭鶴」がここにあるんだと狐につままれた様子でした。私がこの謎を解いてやって、金親さんはじめみんながようやくそれが理解できました。本当にこんなことがあるのか、全く

奇跡と言うか、奇遇というか説明にも大変苦労しました。金親さんはその空箱を実家の甥御さんに届けようと大事に持ち帰りました。
　以上ご清聴ありがとうございました。

【私のロータリーモーメント】

富里RC　矢部 和男会員



　皆さんこんにちは。会長より「ロータリーを続けている理由」を話すという宿題を出されましたが、たまたま早池峰山の麓に出かけ、熊に会わなければということでしたが、無事ここで話をすることができます。
私がロータリークラブに入会して良かったことをいくつかお話したいと思います。
25年前会長を仰せつかり、これを機に人前で話をするということが苦にならなくなりました。
またロータリークラブの良い仲間ができ、たくさんの地域のロータリアンとも出会えました。
奉仕活動ができることも入会してよかったと思うことです。皆さんと一緒に奉仕活動をすることがとても楽しく、社会奉仕では毎年献血活動に力を入れております。
いつも献血の日には「血の気が多いからたくさんとってもらえば」と言われます。しかし数年前、いつものように献血に行くと「70歳を過ぎている方は献血できません。残念ですがお気持ちだけ」と言われてしまいました。私は「捨ててもいいからとってくれ」とつい冗談で言ってしまいました。それほど献血が長年の健康のバロメーターになっていました。今年3月も皆さんの協力で献血活動をすることができました。
そのころといえば、コロナ禍で献血者が少なく、日本赤十字社より献血活動の協力要請がありました。我々も活動を自粛するかどうかの決断に、理事会を開き話し合いました。悩みましたが、当時白血病で入院していた池江璃花子選手の献血のお願いメッセージもあり、献血を手伝うことにしました。結果、ロータリアンの皆さんの協力で予想以上の献血の成果をあげることができました。これは社会奉仕ということを実感できた出来事でした。
　ほかにもインター前の花壇の手入れ、今年は残念ながら中止になってしまいましたがスイカロードレース大会の手伝いなど、毎年様々な奉仕活動を行ってきました。
　このように振り返ってみるといろいろなことがありました。私の一番の思い出となっているのが創立25周年の実行委員長を任されたことです。その時、元NHKのアナウンサーで活躍していた宮田修氏に講演をしてもらえたことです。宮田修君とは幼馴染で、当時は講演で忙しかったところ快く引き受けてくれました。ロータリークラブに入っていなければこのようなこともなかったでしょう。
　親睦旅行やゴルフでは、皆さんとより深く交流を持つことができ、普段の励みにもなりました。また地区大会などの講演会では、毎回貴重なお話を聞くことができ、自分自身が成長できる、素晴らしい機会を得ることができました。ロータリーに入会し36年、本当に良かったと思っております。
　昭和59年6月にスポンサークラブ八街さんの特別代表、原様よりチャーターメンバーとして入会してから現在まで36年間、毎回例会に出席をしています。考えてみますと私自身が丈夫で健康だったということだと思います。これも毎週会員の皆さんに会って話をしたいと思っていたからできたことだと思います。
私は1週間の予定を入れる際、例会とクラブの行事をまず先に入れるようにしております。今のところ35年間100%出席の皆勤賞なので今後も記録を伸ばしていきたいと思っています。
続けてこられたこと、それは「ただ絶対休まない」それにつきます。そしてロータリーでの活動を楽しんできたからです。これからも楽しく、元気に例会に出席をしたいと思っています。ありがとうございました。



【私のロータリーモーメント】

富里RC　岩井 和徳会員



皆さんこんにちは。私は富里ロータリークラブの岩井です。よろしくお願いいたします。本日会長よりスピーチをしてほしいと言われ、矢部会員と同じように宿題を出されました。私は昨年度に続き2年目ですが、職業奉仕委員長に仰せつかりました。鈴木年度に入りまして、職業奉仕委員会の抱負を述べてくれと言われました。RIの方ではしばらくの間職業奉仕を軽んじている傾向があり、日本は職業奉仕に専念し何をしているのかという意見があったようです。私は日本人特有の「職業奉仕の大事」を思っておりました。何故RIはそのようなことになるのかと思っておりましたら本年度会長は、職業奉仕を重視してくれているということでしたので、私としてはやりがいがあるのかなと考えております。

ガバナー公式訪問は毎年行われているものですが、年度によって大きな変化ではないのですが方針が変わります。我々はRIの考えを忠実に守っていかなければならないかと聞きますが、最後は各クラブで考えてほしいという結論になります。私は平成5年に入会し、現在27年、その間に会長2回、幹事2回、それぞれの委員会も経験しました。しかし毎年これで悩み、ロータリーとは何なのだろうと哲学的なことになってしまいます。そんなことを毎年繰り返しながら現在に至っております。最後は「答えがないのがロータリーである」という結論になります。そのように自分なりに矛盾も感じながら続けてこられたことはよかったと思っております。

しみじみとなぜロータリーを続けているのかなと考えた時、ロータリーに入っていろいろな友人、知人ができます。それが一番大事なのだと思います。現在は退会してしまった会員が「ほかの組織にはない人脈、和を作れることが最高ではないか」と言っておりました。私もそれが一番ではないかと思っております。

27年前富里クラブに入るときのことを思い出してみますと、私は妻に勧められ入会しました。うちの妻の実家は茂原市で当時富里は村でした。「私はこんな田舎に嫁にきた」といつも言っていました。そんな時、ロータリーに入会しないかと誘われ、それを話したところ、「こんな田舎にもできたの」と言われました。当時茂原市ではロータリークラブは活発に活動していました。妻の後押しもあり入会しました。そして今、この年になっても葛藤をしています。なぜかというと私が入会した時よりも今は職業分類や出席もどんどん緩和されています。ロータリーのステータスが無いように思います。私が入会した当時はそのステータスを重んじて、自分を磨いて、それから地域社会に奉仕ということが根強いのです。そのようなことが失われつつある今のロータリーは少し寂しい気がします。当クラブは若い会員が入られ10年ぐらいになります。そして今その若い会員がリーダーとなりいろいろな活動をしようと盛り上がっていることは大変素晴らしいと思います。そこで経験者が口を出すのはどうかとは思いますが、意見を挟みながらも若い方を応援したいと思います。先ほどガバナーから生涯ロータリアンでというお話がありましたが、できる範囲でのんびりロータリーライフを楽しんで参りたいと思います。

【質疑応答】

〈八街RC　　高橋 宏一会員〉

台北国際大会のビデオが放映されましたが、千葉ナイトの会費が非常に高いと思います。私は体力的に参加できないと思いますが、八街RCからは5人参加いたします。できればそのようなことも考えていただき、国際大会を行うか中止かを早く教えてほしいです。後2カ月で登録もして、航空チケット、ホテルなどを予約することも考えますと早く連絡がほしいと思っております。

〈富里RC　　岩井 和徳会員〉

戦略会議という話がありましたが、これはクラブリーダープランの中に入っていますか？また年度によって違いますがCLPを導入しているクラブなどどのようになっているかお話をいただきたいと思います。

【講　評】　ガバナー 漆原 摂子様

皆様長時間にわたり、お残りいただきありがとうございました。まずご質問からお答えいたします。高橋会員からは千葉ナイトの会費が高いということでしたが、ホテルがコロナに完全に対策をしている五つ星のホテル日航台北を厳選して選びました関係とお食事、お飲み物だけでなくアトラクションも付けた関係でこのような値段になっています。確かに台湾に行きなれている皆様でしたらもっと廉価で美味しいところがあるということはご存じかと思いますが、安全、安心のためにこのような施設を利用した結果このような金額になっております。もちろん手数料などは一切取っておりません。一番安全で高級なホテルを選んだ結果このような値段となりました。

台北大会が実施または中止かということはRIの理事会が決めることですので、私たちは結果を待つしかありません。今年のハワイは5カ月ぐらい前に中止の連絡がきました。今回もそれぐらいのタイミングでアナウンスがあると思います。台湾事態はクリーンな国で、コロナ発生もないと聞いておりますが、果たして全世界から来ることを台湾が許してくれるかということもありますし、一部はいいいよということになると不公平になりますので、これはRI理事会の決めることですので、早く知りたいとは思いますが待つしかありません。

次に岩井会員からのご質問、CLP関係ですが、DLPに関しましては2002年にRIが義務的に各地区に導入するようにと言われましたが、CLPはその後、あくまでも推奨でございます。各クラブの規模に合わせて導入するか否か、これは各クラブがきめることでございますので地区内クラブでもCLPを導入していないところもあります。それとは別に、戦略計画委員会がないクラブにおいても3年後、5年後の計画を考えるようにということはCLPとは別のRIからの推奨事項でございます。そこをご理解いただければと思います。

クラブ協議会の講評と申しますと、先輩方を前にして僭越ではございますので感想ということで申し上げます。従来クラブ協議会は各委員会の皆様から活動計画、活動報告を話していただいて、それで講評させていただくということが慣例でありましたが、RIからガバナー公式訪問の推奨事項がいくつかあります。その中にガバナーは行った先で多くの会員さんの声をきくように、多くの会員さんと交わるようにとありました。各委員会の活動においては事前に活動計画をいただいておりまして、読ませていただいておりますので、それは会長幹事さんとの懇談会でお伺いいたしました。そのようなわけで今回RIが盛んに言っています各クラブの戦略計画について、またロータリーモーメントについて語っていただきました。戦略計画委員会、八街RC木村会長、富里RC鈴木寛尚会長におかれましても、卓話の中で申しました「自分のクラブを見つめ5年後はどうなっているか」ということを忠実にやっていただいております。それぞれアンケートをとられたりして種を作っていらっしゃいますので、他クラブにこれから公式訪問に行きましてもお手本として紹介をさせていただきたいと思っているぐらいでございます。具体的な奉仕活動につきましても多くの

引き出しをお持ちになっておられるということは大変感銘をいたしました。そしてロータリーモーメントは私がいつも大変楽しみにしているものでございます。入会の浅い若手会員さんからべてらん会員様でお話をいただきました。これはもちろん自分がロータリーに入ってよかったということをシェアーするだけでなく、もちろんこの中にはいらっしゃらないとは思いますが、ロータリーを辞めようかなと思っていらっしゃる方に対して、モーメントを聞いて「もう少し続けてみようかな」ということに繋がると思いますし、また新会員さんの候補に出会ったとき、「ロータリーって何」と聞かれたとき、「1905年にポールハリスが作って…」という話ではなく、自分がこのクラブに入ってよかったことを自分の言葉で素直に語っていただく、それが一番の会員勧誘の殺し文句につながるのではないかと思っている次第でございます。皆様のモーメント、特にベテラン会員さんからいろいろな意見をいただきました。岩井会員の職業奉仕に関してのことですが、私も入会して何年か経ってから職業奉仕を仰せつかった時、その時のガバナーが銚子の織田さんでございました。あの方も職業奉仕を大切にされて、私もそのスピリットは大切だなと思っておりますし、卓話でも申しましたようにこれは一生変わらない大切な理念だと思っております。ロータリアンであれば職業奉仕委員会は独立するのではなく、全員が職業奉仕の委員だと思っているくらいです。最近のRIの方針は、それをtake actionに移しなさいという文言が加わって、外向きの奉仕が加わっております。私はRIの役員という立場でございますので、日本が従来大事にしている職業奉仕のスピリット、信念は大事にしながらも昨今のRIはこのようなことがあるのだよ、でもそれを採択するのはお一人お一人でございますし、クラブでございます。ロータリーには先ほどもおっしゃっていたように、答えはないし、千人いたら千通りの答えがあると思います。一つ大事なのは自分が地域社会で役立つ人間になること、地域社会で良いことをすること、そして親睦、これは絶対に外せないことでございます。後は皆様が個人で、クラブで、そのクラブの特性を生かして進んでいくことがロータリーだと思っております。大変まとまらない状態でございますが、本当に皆様の素晴らしいモーメントを聞くことができてうれしゅうございました。長時間に渡りお付き合いいただいて感謝申し上げましてこれで感想とさせていただきます。本日はありがとうございました。



広報･公共イメージ向上委員会・萬来 謙一・関　由美子